

ぶどう伝説が息づく里 上岩崎をめぐる



国内でも最も古いぶどうの産地といわれる上岩崎。小道を歩くと歴史を感じさせてくれる



緑陰に囲まれた氷川神社の石段



集落内には蔵が点在する

勝沼フットパスを通じて、地域の内外の皆さんに勝沼の自然や歴史文化、風土を楽しんでいただこうと「勝沼フットパスの会」では、今年もウェルカムツアーを開きます。今回のコースは、甲州ぶどうの栽培伝説が息づく勝沼町の上岩崎（かみいわさき）をめぐる。晩秋の一日、市民ガイドの案内でゆっくりとぶどうの里を歩いてみませんか。

日時 2013年11月24日(日) 午前9時～9時30分受付

スタート 午前9時30分

ゴール 午後12時ころ ※昼食後解散

集合場所 甲州市勝沼町 JA 上岩崎共選所（上岩崎四つ角北側）

※駐車場あり。JR 勝沼ぶどう郷駅から送迎あり。

募集人数 80人（先着順）

参加費 1人1,000円（昼食、保険、資料代等。小学生以下無料）

参加申込み 裏面の申込書、または電話で11月22日（金）までに下記まで申し込んでください。ファックス、「勝沼フットパス」のホームページからも申し込みができます。

■実施事務局 Tel.0553-39-8915 (FAX 兼) まち案内&カフェ「つぐら舎」内。午前10時～午後5時 ※火・水休み ■ある〜くこうしゅう推進協議会（甲州市観光交流課内）Tel.0553-32-2111（代）FAX 0553-32-5174 午前8時30分～午後5時15分 ※土日祭日休み

主な行程：約2.5km 所要時間：約2時間30分

スタート：上岩崎共選所～祝橋～金剛寺前～利右衛門稲荷～大一葡萄園前～甲斐徳本の碑～東宮行啓の碑～集落内の小道～氷川神社～田草川～祝新道～すすき町入口～ゴール：古柏園（昼食、ぶどうワインサービス）

上岩崎に伝わる 甲州ぶどう伝説

■雨宮勘解由伝説

平安時代の末期、壇ノ浦の合戦の翌年に上岩崎に住む雨宮勘解由（かげゆ）が石尊山の祭りから帰る途中、山ぶどうの変性種を見つけ家へ持ち帰り苦心して育てたところ、翌年見事なぶどうが実ったという。奈良時代が発祥という大善寺伝説と並ぶ甲州ぶどう発祥の伝説。

■甲斐徳本伝説

戦国時代の終わりに、諸国を行脚していた名僧であり漢方医でもあった徳本上人が上岩崎に立ち寄った際、株仕立てのため栽培に苦勞していた村人に、棚栽培を伝えたという。